

第 25 期「市民性」涵養ための法学教育システム構築分科会 第 8 回 議事録

日 時 2023 年 3 月 17 日（金）12:00～14:30

会議形式 日本学術会議 5-A(1)、(2)会議室 及び オンライン（Zoom）を併用開催

出席者

【対面参加】Dimitri Vanoberbeke 氏（東京大学教授・招聘参考人）、四宮 啓氏（國學院大學教授・弁護士・招聘参考人）、三成賢次（委員長）、川嶋四郎、葛野尋之、武内謙治、平山真理、小澤隆一、林真貴子、長谷河亜希子

【オンライン参加】三成美保、糠塚康江、田中教雄、松本尚子

計 12 名

欠席者：三阪佳弘、小林傳司

議事録作成：長谷河

議 題

1. 前回議事要旨の確認について

前回議事録要旨を承認した。

2. 報告等

(1) 6 月シンポ「法教育の現場と法学教育との連携（仮）」の報告に関して

① 第 4 グループ田中委員より、「社会人教育」に関する報告。

- 「消費者教育の推進に関する法」に注目する。
- 同法 3 条 3 項「消費者教育は、幼児期から高齢期までの各段階に応じて体系的に行われるとともに、年齢、障害の有無その他の消費者の特性に配慮した適切な方法で行われなければならない。」との関係で、如何なる政策がとられているのかに関する検討を予定。
- 参考：「消費者教育イメージマップ」
- 以前より指摘されていた問題点：学習対象の広がり難しさ、成人層を対象とする啓発の難しさ、情報の届きにくい人への情報提供手法の開発の難しさ。
- 「消費者教育ポータルサイト」：多数の教材・取り組み事例が紹介されている。
- 「法教育」となると学校教育が念頭に置かれる。「社会人・外国人」向けの法教育が欠如している。

② 6 月シンポの内容に関する検討

- もう 1 名のコメンテーターについては、これから依頼。
- 「ネット上での一定期間公開」について要検討。
- 当日に分科会を開催する。
- シンポジウムの時間を 3 時間半に設定する予定。
- Webinar 公開でもよい。

(2) 報告

① 四宮 啓氏 (國學院大學教授・弁護士)

「18歳から裁判員：より自由で公正で責任ある社会はだれがつくるのか？」

- 戦前の陪審員裁判の経験。
- 現在の行動が10年後20年後の社会を作る。
- 皆が幸せに生活できているか？出来ていないとすればなぜか？
- 陪審員の責任：裁判当事者への責任、社会への責任（社会の構成員としての自覚）。

② Dimitri Vanoverbeke 氏 (東京大学教授)

「欧州から見た18歳からの裁判員制度：トップランナーか周回遅れか」

- ベルギーの存続には「強い民主主義」が不可欠である。
- ベルギーでの「強い民主主義」を作り上げるための諸工夫。例) 選挙における投票は義務。
- ドイツ語圏における、参加民主主義にとどまらない熟議民主主義の試み。
- Active citizenship 科目の導入。

(3) その他

- 15時からのシンポジウムの進行等を確認した。

以上